

令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国庫補助金）
に係る事業評価について（報告）

令和 8 年 1 月 1 5 日付け書面協議により承認をいただきました「令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、車両減価償却費等国庫補助金）に係る地域公共交通計画の一次評価（自己評価）」につきまして、北陸信越運輸局へ提出していたところ、別添のとおり二次評価結果の通知がありましたので、ご報告いたします。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月24日

北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
射水市地域公共交通活性化協議会	海王交通(株) 三島野観光(有) 小杉タクシー	「のるーと射水」北東	令和7年度新規事業のため、前回の事業評価なし。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A R7年度の補助対象期間はR7.4～R7.9(6か月)であるため、年間で目指す水準を設定している目標値についてはその1/2で算出。 ①利用者数 【目標】30,000人 以上 【実績】29,465人 →現時点では未達成だが、利用者数の増加する冬季(12月～2月)を考慮すると目標値の達成が見込まれるため、A評価とする。 ②収支差額 【目標】21,500千円 以下 【実績】19,578千円(達成) ③収支率 【目標】12.2%以上 【実績】18.2%(達成)	・R8年度以降は、利用者の多い冬季を含む通年で目標・効果達成状況を把握することとなることから、目標は達成し続けることができる見込み。 ・今後も、利用実態を踏まえ、運行台数や乗降場所等の見直しを行うなど、利便性向上策を講じ、利用者の増加に努める。 ・また、交通結節点やバス停等において、見やすく、分かりやすい時刻表や路線図の他、デマンド交通の利用方法等の情報提供を行い、利用を促す。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果					地方運輸局等における二次評価結果	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
射水市地域公共交通活性化協議会	エムアールテクノサービス(株)	「のるーと射水」南東車両購入を含む	令和7年度新規事業のため、前回の事業評価なし。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	R7年度の補助対象期間はR7.4～R7.9(6か月)であるため、年間で目指す水準を設定している目標値についてはその1/2で算出。 ①利用者数 【目標】35,000人 以上 【実績】29,638人 →現時点では未達成だが、利用者数の増加する冬季(12月～2月)を考慮するとともに、利用者の利便性向上のため、一部区域において、コミュニティバスの運行を再開したことから、コミュニティバスの利用者数も含めると目標値の達成が見込まれるため、A評価とする。 (コミュニティバス利用者(推計)を含めると34,834人) ②収支差額 【目標】24,000千円 以下 【実績】19,671千円(達成) ③収支率 【目標】12.2%以上 【実績】18.2%(達成)	・R8年度以降は、利用者の多い冬季を含む通年で目標・効果達成状況を把握することとなることから、コミュニティバス利用者数も含めると目標は達成し続けることができる見込み。 ・今後も、利用実態を踏まえ、運行台数や乗降場所等の見直しを行うなど、利便性向上策を講じ、利用者の増加に努める。 ・また、交通結節点やバス停等において、見やすく、分かりやすい時刻表や路線図の他、デマンド交通の利用方法等の情報提供を行い、利用を促す。	協議会における事業評価結果の③から⑤までについては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。ただ、⑥の事業の今後の改善点について、当該事業の補助対象外であるコミュニティバスの利用者数も実績に含めていることから、利用者数目標を達成しているとはいえないのではないかと思慮する。